

活動結果報告書

令和5年8月30日

越前市議会

議長 吉田 啓三 殿

議員氏名 佐々木 哲夫

下記のとおり報告します。

日 程 令和5年6月30日(月曜日) 10時～15時

活動先 ファーム広瀬、湯楽里、住友林業

活動目的 有機農業等研修

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

1. 農業法人・ファーム広瀬

JAS有機認証を取得し、米や大豆などを栽培し販売している。
面積も60町ほどで、大規模な生産基盤でありながら、有機栽培に特化して、販売戦略にも積極的に取り組んでいる。

2. 湯楽里

地場産食材を活かした特別メニューに取り組んでおり、そのランチを味わいました。
ボリュームたっぷりで美味しく感じたが、価格も高いため、どの程度の需要が見込まれるのか？

3. 住友林業

森林林業マスタープランの策定を委託された住友林業の3名が、マスタープランの策定に関する説明を受けて、質疑応答。
この地域には、山に関心と造詣のある市民が数人いるため、策定の中で、ぜひとも意見を聞いてほしいと要望。

活動結果報告書

令和5年7月31日

越前市議会

議長 吉田 啓三 殿

議員氏名 佐々木 哲夫

下記のとおり報告します。

日 程 令和5年7月6日（木曜日）～7日（金曜日）

活動先 衆議院会館の会議室並びに議員会館の県選出国會議員執務室

活動目的 国の政策研修会並びに要請活動

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

国の政策を学ぶために、関係省庁の担当より説明を聞き、質疑応答。

市の重要要望事項について、県選出の国会議員を議員会館に訪ね、要請した。

要請に伺った国会議員

○高木毅・衆議院議員（自民党国会対策委員長）

○稲田朋美・衆議院議員（自民党幹事長代理）

政策研修会の課題と日程は、別添資料のとおり

感想 衆議院第一議員会館 918号室 一日目 資料別紙参照

【子ども家庭庁】

・子どもの居場所作りに関して、学校内の空き教室などの利用に関しては、国も積極的な利用促進を求めていること。

・国は、子どもにかかわる部署の一本化を図ったが、各自治体も一本化が求められているが、国は、まだそこまでは求めている。

・子どもの居場所作りの問題は、学校教育のあり方の抜本的な見直しが必要との認識

がある。

保育園、幼稚園（こども園）、小中学校など
放課後児童クラブを2023年までに、小学校内に1万箇所設置を目指している。

【文化財保存】文化庁が京都に移転しているので、ズームで。
文化財保存活用計画については、越前市は計画を立てたが、現在1,700自治体のうち150ほど（作成中含め）目標は、10%

二日目 衆議院第一議員会館 918号室 資料別紙参照

【デジタル田園都市構想の概要】

デジタルの力を活用して、地方創生を加速化・深化し、全国どこでも、誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す！ことが目的。

地方のデジタル実装に向けたKPI。デジタル実装の基礎条件整備に関するKPI。加えて、地域ビジョンの実現に向けたKPIに関して国が示す各事業の目標値の説明を受ける。

○サテライトオフィス 2027年までに1,200団体

○3D都市モデルの整備都市2027年までに500都市

○スマートシティ選定数 2027年までに100地域

○脱炭素先行地域の選定及び実現 2025年度までに少なくとも100ヶ所選定し、2030年度までに実現。

等々の説明を受け、国はかなり力を入れていることを痛感しました。

☆地方創生移住支援事業の説明を受け、非常に興味を感じました。

特に、デジタル田園都市国家構想における総合戦略における地方移住の推進に関する地方移住の推進に関する国の支援策を自治体はどう活用するかが問われていると感じました。

創至と一志会・合同研修【国の政策に学ぶ】

研修会場

7月6日・7日

東京・衆議院・第一議員会館 918

国の各担当責任者の説明を受ける議員



越前市議会会派 創至・一志会 東京研修

参加者：小形善信、題佛臣人、安立里美、能勢淳一郎、佐々木哲夫、清水一徳

7月6日(木)@衆議院第一議員会館918号室

※暗証番号2236、連続開放#1 2236#、連続開放終了#2 2236#

【こども家庭庁】13:30-14:30 勉強会／14:30-15:00 質疑応答

1. こども家庭庁の目的と役割

2. 少子化対策

○こども家庭庁長官官房参事官（総合政策担当）企画調整係長 堀越 優行

（同席）こども家庭庁長官官房参事官（総合政策担当）付参事官補佐 河北 浩之

3. 児童クラブ

4. 居場所づくり

○こども家庭庁成育局成育環境課 主査 野崎 貴生

○こども家庭庁成育局成育環境課 主査 河野 誠人

5. 子育て世代包括支援センター

○こども家庭庁成育局母子保健課 母子保健指導専門官 内田 愛子

【文化財保存】15:30-16:30 勉強会/16:30-17:00 質疑応答

1. 文化財保存活用地域計画の概要

2. 文化財保存活用の新たな取り組み、概要

3. 文化遺産を未来に生かすために行っていること、地方自治体との関連について

○文化庁文化資源活用課長 篠田 智志 （オンライン対応）

7月7日(金)@衆議院第一議員会館918号室

※暗証番号2236、連続開放#1 2236#、連続開放終了#2 2236#

【地方創生】9:00-10:00 勉強会/10:00-10:30 質疑応答

1. デジタル田園都市国家構想の概要

○内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 参事官補佐 丸山 頼子

○内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 参事官補佐 内場 裕子

2. 地方創生インターンシップ

3. 地方創生（移住支援の概略）

○内閣府地方創生推進事務局 参事官補佐 熊谷 徹

○内閣府地方創生推進事務局 行政実務研修員 廣瀬 貴宣

【公共施設等総合管理計画】10:40-11:40 勉強会/11:40-12:00 質疑応答

1. 指針の改定について

2. 全国の取り組み状況とモデル事例

○総務省自治財政局財務調査課長 上坊 勝則

7月7日(金)@衆議院第一議員会館918号室

※暗証番号2236、連続開放#1 2236#、連続開放終了#2 2236#

【地方創生】9:00-10:00 勉強会/10:00-10:30 質疑応答

1. デジタル田園都市国家構想の概要

○内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 参事官補佐 丸山 頼子

○内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 参事官補佐 内場 裕子

2. 地方創生インターンシップ

3. 地方創生（移住支援の概略）

○内閣府地方創生推進事務局 参事官補佐 熊谷 徹

○内閣府地方創生推進事務局 行政実務研修員 廣瀬 貴宣

【公共施設等総合管理計画】10:40-11:40 勉強会/11:40-12:00 質疑応答

1. 指針の改定について

2. 全国の取り組み状況とモデル事例

○総務省自治財政局財務調査課長 上坊 勝則

活動結果報告書

令和5年7月31日

越前市議会

議長 吉田 啓三 殿

議員氏名 佐々木 哲夫

下記のとおり報告します。

日 程 令和5年7月22日（土曜日）～24日（月曜日）

活動先 岡山市立市民文化ホール、岡山市勤労者福祉センター

活動目的 第65回自治体学校in岡山 に参加して、全国に自治体が抱えている課題や
新たな事例に学ぶ

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 （不足のときは、補助用紙を用いる。）

日程や事業内容については、添付資料を参照してください。

日程1日目 全体会 岡山市立市民文化ホール

全国各地から約1,500人ほどが会場狭しと参加していた。

参加者の多くは、県議や市議や町議。自治体職員、研究者。

（1）記念講演① 奈良女子大教授で自治体問題研究所理事長の中山徹さんの講演は、厳しさが増す自治体を取り巻く状況の変化と、それにどう立ち向かっていくのか！全国に事例を交え示唆のある講演であった。

特に、地方政治について、投票率の推移をもとに分析。

地方政治を変えるための3要件の話は非常に興味を持つものであり、女性や若者にどう伝えるか！に視点が置かれた。

（2）記念講演② 東京都杉並区長の岸本聡子さんの話には、度肝を抜かれました。国際青年環境NGO ASEED JAPANに参加。オランダやベルギーに居住し、国際的な活動に取り組む。

国際政策シンクタンクNGOトランスナショナル研究所研究員などを経て、日本に戻り、

杉並区長となる。

◎具体的な政策は、区のHPにある【さとこビジョン】の実現に向けた取り組み概要に詳しく記載されている。

彼女は、これまでの市政の課題を徹底的に調査し、分析し課題解決に向けた取り組みに着手している。

☆特に、地球温暖化対策、地産地消、区長選、区議選で区独自の公開討論会の開催、区長の多選自粛制度 世界各地で実施の参加型予算の導入など。

(3) リレートークも良かった。

但し、2つの記念講演の凄さに、3人の話し合いは、やや盛り上がり欠けた。

日程2日目 分科会 10の分科会が設置された。各分科会には50人～150人余りが参加。各分科会も非常に盛り上がりが見られたと、翌日の報告から感じました。

(1) 私は、分科会3【住民と共にすすめる持続可能な地域づくり】に参加しました。会場には約100人。勤労者福祉センター島根大学の関耕平教授が進行とアドバイス。事例報告は、島根県美郷町議の中原さん、水島地域環境再生財団と大阪公立大の徐本教授、しまね地域自治研究所の塩治隆彦さん。それぞれに、特徴ある事例報告であったが、その中で中原さんの日々の活動に感銘を受けました。

彼は、地域の声なき声に耳を傾けるために、町民の地域を考える会の組織づくりに奔走し、その組織の日々の活動を通じた意見や提案を、町議会に反映する活動を展開している。

3人の発表の後、会場の参加者との質疑応答や意見交換が行われました。私も、質疑や提案に参加しました。

夜の交流会 3のテーマで夕食も食べずに意見交換会を実施。

17:30～19:30 私は、公民館と地域づくりの交流会に参加。35名の参加者のうち7割が女性。女性議員も5名。岡山市の公民館主事の事例報告があり、主事が主体性を持ち地域課題を見据え、学びの場を地域の人々としっかり取り組んでいること痛感しました。

日程3日目 全体会 岡山市立市民文化ホール

特別講演① 龍谷大の本多教授の暮らしから考える自治体行政のデジタル化は、国が積極的に進めるデジタル化には、課題が多くあることを示唆。

特別講演② 岡山県真庭市の太田市長の地域資源を活かした真庭市の挑戦の話は、正直びっくりしました。

木質バイオマスの利活用、生ごみ&し尿液肥化事業、シニアオフィス、サテライトオフィスの取り組み、デジタル地域通貨、ゼロカーボンシティ、SDGsなど

まさに、地域の資源を最大限に利活用し、地球温暖化対策にも果敢に挑戦すると共に、地域のエネルギーと経済の歯車を回す取り組みを進めている。

最後に、3日間の研究会であり、長丁場でどうなるかと心配したが、中身が充実しているのに加え、参加者の意識や活動のレベルが非常に高く、刺激を受ける内容でありました。

第 65 回 自治体学校 in岡山 1/22~24



22 日と 24 日の全体会 市民ホール



23 日の分科会 勤労者福祉センター



23 日夜の交流会 勤労者福祉センター

みんなで学ぶ、つくる 憲法・地方自治に

根ざしたまちとくらし

第 65 回

みんなが先生 みんなが生徒

自治体学校 in 岡山

2023 年 7 月 22 日(土)～24 日(月)

(後日録画配信する分科会・講座の配信は、8 月 1 日～8 月 31 日の予定)

会場／岡山市立市民文化ホール・岡山市勤労者福祉センター・

岡山シティホテル桑田町別館・おかやま西川原プラザほか



備中神楽
「大蛇退治」

主催／第 65 回自治体学校実行委員会 (自治体問題研究所内)

後援 ● 岡山県／岡山市／倉敷市／玉野市／笠岡市／井原市／総社市／高梁市／新見市／備前市／瀬戸内市／赤磐市／真庭市／美作市／浅口市／和気町／早島町／里庄町／鏡野町／勝央町／奈義町／久米南町／吉備中央町／新庄村／西粟倉村／岡山県教育委員会／岡山市教育委員会／倉敷市教育委員会／岡山県市長会／岡山県町村会／岡山県市議会議長会／岡山県町村議会議長会／RSK 山陽放送／OHK 岡山放送／TSC テレビせとうち／山陽新聞社

第 65 回自治体学校 in 岡山 日程

7月22日（土）全体会 会場：岡山市立市民文化ホール

- 12:00 開場
- 12:30 歓迎行事 備中神楽
- 13:00 開会挨拶 川瀬憲子 自治体学校長・静岡大学教授
磯部 作 現地実行委員長・岡山県自治体問題研究所理事長
- 13:15～14:30 記念講演①「地方自治と地域 この1年から考える」
中山徹・自治体問題研究所理事長・奈良女子大学教授
- 14:30～14:50 (休憩 20分)
- 14:50～15:50 記念講演②「地域の主権を大切に、ムニシパリズムの広がり」
岸本聡子・東京都杉並区長
- 15:50～16:00 (休憩 10分)
- 16:00～16:45 リレートーク 地域と自治体 最前線
森藤政憲・奈義町議会副議長
小川裕子・自治労連非正規公共評議会議長
中西裕康・備前市議会議員

★岡山のお酒を楽しむ会 18:15～20:00 岡山市勤労者福祉センター5階

7月23日（日）分科会・講座 会場：岡山市勤労者福祉センター・岡山シテ

ィホテル桑田町別館・おかやま西川原プラザ

- 9:00 開場
- 9:30～16:00 分科会・講座
- 現地分科会 13 会場：倉敷市真備健康福祉館まびいきいきプラザ
- 現地分科会 14 会場：倉敷市環境交流スクエア水島愛あいサロン
- ★夜の交流会 17:30～19:30 岡山市勤労者福祉センター

7月24日（月）全体会 会場：岡山市立市民文化ホール

- 9:00 開場
- 9:20～10:30 特別講演①暮らしから考える自治体行政のデジタル化
本多滝夫・龍谷大学教授
- 10:30～10:45 (休憩 15分)
- 10:45～11:45 特別講演②地方自治体が直面する課題への挑戦（現場から）
太田 昇・岡山県真庭市長
- 11:45～11:50 閉校挨拶 小山国治・実行委員長

分科会・講座：7月23日（日） 9：30～16:00

【会場】岡山市勤労者福祉センター

分科会 1	正規職員の長時間労働と非正規職員の不安定化 (ZOOM 併用) (後日録画配信あり)
第 3 会議室	助言者 黒田兼一・明治大学名誉教授

分科会 2	医療と公衆衛生体制強化への道すじを考える
第 2 会議室	助言者 長友薫輝・佛教大学准教授

分科会 3	住民とともに進める持続可能な地域づくり
体育集会室	助言者 関耕平・島根大学教授

分科会 4	「自治体のプラットフォーム化」で自治体はどう変わるのか (後日録画配信あり)
第 1 会議室	助言者 本多滝夫・龍谷大学教授

講座 1 1	自治体政治・行政入門 (後日録画配信あり)
大会議室	講師 柏原誠・大阪経済大学准教授

講座 1 2	自治体財政のしくみと課題 (後日録画配信あり)
大会議室	講師 川瀬憲子・静岡大学教授

【会場】岡山シティホテル桑田町別館

分科会 5	少子化時代における保育所のあり方を考える (後日録画配信あり)
会議室 204	助言者 中山徹・奈良女子大学教授

分科会 6	公なき「地域共生」と DX による社会保障の変質を考える
会議室 205	助言者 豊島明子・南山大学教授

【会場】おかやま西川原プラザ

分科会 7	自治体民営化のゆくえー「公共」の変質と再生 (後日録画配信あり)
大会議室 B・1	助言者 尾林芳匡・弁護士

分科会 8	学校統廃合・小中一貫教育と学校を守る住民の運動
大会議室 B-2	助言者 山本由美・和光大学教授

分科会 9	新型コロナ後の公共交通のあり方
別館第 6 会議室	助言者 金山洋一・富山大学教授

【会場】 倉敷市真備健康福祉館まびいきいきプラザ

現地分科会 1 3	西日本豪雨災害の教訓を活かして住民参加の防災対策を
	助言者 磯部作・岡山県自治体問題研究所理事長

【会場】 倉敷市環境交流スクエア水島愛あいサロン

現地分科会 1 4	水島でカーボンニュートラルの取り組みを学ぶ
	助言者 歌川学・産業技術総合研究所主任研究員

活動結果報告書

令和5年11月30日

越前市議会

議長 吉田 啓三 殿

議員氏名 佐々木 哲夫

下記のとおり報告します。

日 程 令和5年11月6日（月曜日）～8日（水曜日）

活動先 大阪府保険医協同組合会館 M&Dホール

活動目的 全国地方議員社会保障研修会

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 （不足のときは、補助用紙を用いる。）

.....
社会保障に関する6つの課題に関して、各講師より具体的な講義があり、そのあと質疑応答がありました。
.....

.....
それぞれの講師は、個々の課題についての専門的な研修者であり、説明も非常に具体的で分かりやすいものでした。
.....

感想

【シングルマザーの貧困と自治体再作】

.....
実態調査をもとに、シングルマザーが置かれている現状をしっかりと分析されており、今後の対策の提案も良く理解できた。
.....

【第9期介護保険改悪の内容と自治体での事業計画策定のポイント】

.....
今回改定がなされる介護保険に関して、どこが問題となるかの説明
『高額所得者の保険料を増額し、定額所得者の保険料を安くする』との方針であるが、決してそうでない面があるとの指摘があった。
.....

【今なぜ国や自治体による貧困対策が重要なのか】

.....
これまで、貧困対策に関心が高くなかったが、今回の講義を受け改めて、貧困の状況が厳しいものであるかを再認識した。特に都市部における貧困の現状を知ることが出来
.....

たことは良かった。

【メンタルヘルスの視点から見る子育て支援、女性支援】

この課題に関しては、ほとんど理解していない面があつて、講義を聞き、改めて認識を深めることが出来た。

今後少子化対策を進めるうえで、この課題は非常に重要であると感じた。

【異次元の少子化対策で子育て罰は解決するのか】

男女の賃金格差、保育・家庭・職場における日本の母親を苦しめている現状と課題の説明を受け、漫然としていた認識を改めて考え直す必要があると痛感した。

【基礎から国保を学び統一保険の問題点を大阪から発信する】

国保の基本の考え方、制度ができた敵視背景、国保が都道府県で単位化されている現状と、統一化に向けた課題を学んだ。

今回の講義で、国民皆保険制度より、都道府県国が先に始まっていること。そして、かつて、村民のいのちを守る村として、学んだことがある国内の先進地である【沢内村】が、今日までしっかりと守ってきている現状を知ることが出来た。

2023 年度大阪社保協主催

全国地方議員社会保障研修会

レジュメ・資料集

□各講座日程と内容

	日 程	テーマ	講 師	頁
①	11月6日(月) 10時～13時	女性・シングルマザーの貧困と自治体政策～シンママ調査でみてきたこと ミーティングID：817 0354 2446 パ ス コ ード：609539	砂 脇 恵 先生 (龍谷大学社会学部准教授)	1
②	11月6日(月) 14時～17時	第9期介護保険改悪の内容と自治体での事業計画策定のポイント ミーティングID：844 8287 4030 パ ス コ ード：279715	日下部雅喜 先生 (大阪社保協介護保険対策委員長・ケアマネジャー・佛教大学非常勤講師)	30
③	11月7日(火) 10時～13時	いまなぜ国・自治体による貧困対策が重要なのか ミーティングID：886 0936 7407 パ ス コ ード：013144	加美 嘉史 先生 (佛教大学社会福祉学部教授)	112
④	11月7日(火) 14時～17時	メンタルヘルスの視点から見る子育て支援・女性支援 ミーティングID：837 5715 9732 パ ス コ ード：860578	加藤 雅江 先生 (杏林大学保健学部教授)	162
⑤	11月8日(水) 10時～13時	異次元の少子化対策で「子育て罰」は解決するのか ミーティングID：867 3557 9669 パ ス コ ード：954830	桜井 啓太 先生 (立命館大学産業社会学部准教授)	177
⑥	11月8日(水) 14時～17時	基礎から国保を学び、「統一国保」の問題点を大阪から発信する ミーティングID：813 1110 0156 パ ス コ ード：779045	寺内 順子 先生 (大阪社保協事務局長)	208

全国地方議員社会保障研修会 11/6~8



2023.10.27

各位

大阪社会保障推進協議会
事務局長 寺内順子
osakasha@poppy.ocn.ne.jp

謹啓

2023 度大阪社保協「全国地方議員社会保障研修会」が目前に迫ってきました。

本日、レジュメ・資料集を事前送付いたします。

オンラインで参加のみなさまはそれぞれ資料集表紙と以下にある ID とパスコードで入室できます。

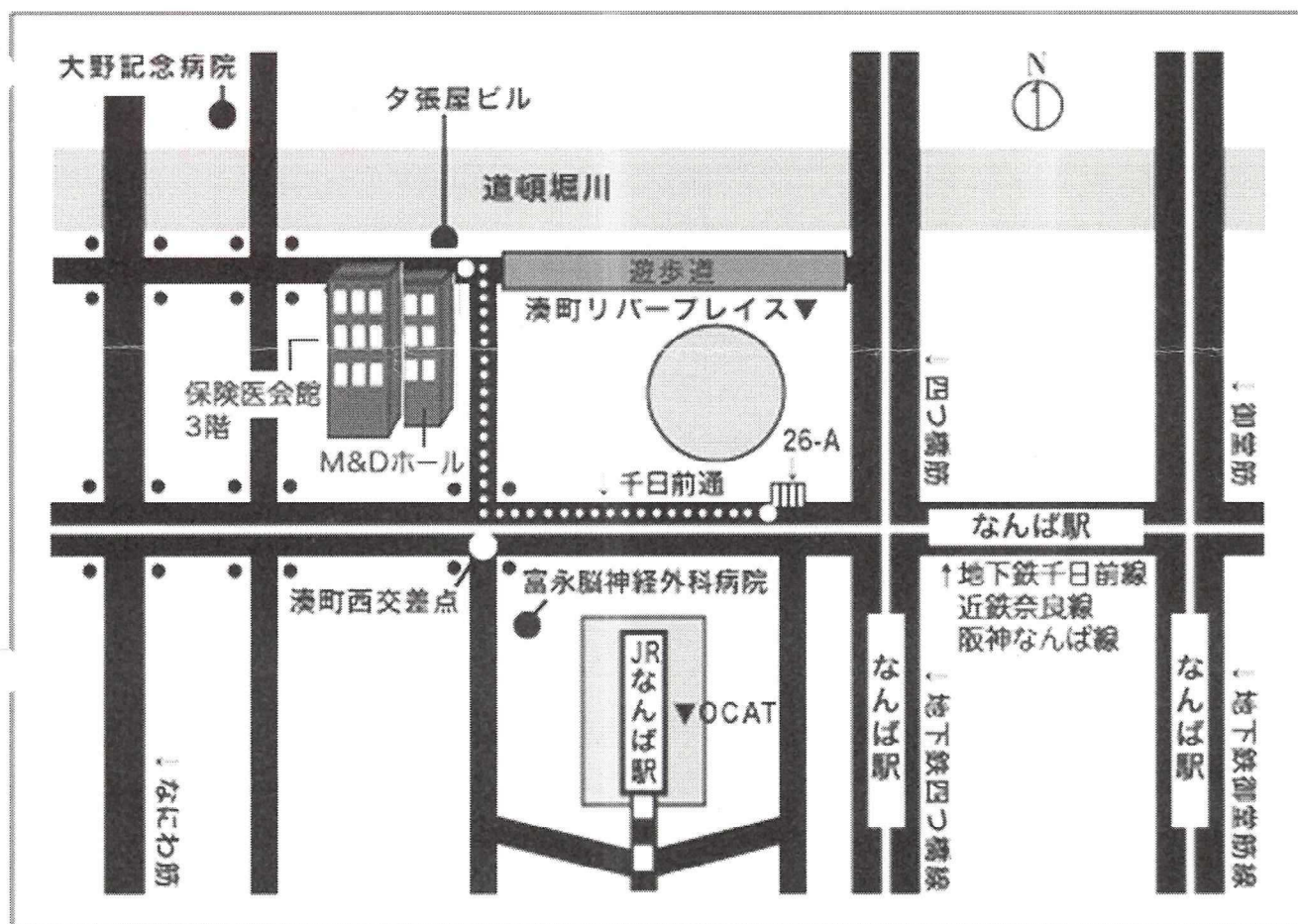
全講座をクラウドレコーディングし、後日 URL をメール送信いたしますので、当日リアルでご参加いただけても後日期限なく視聴可能ですので、議会活動等にご活用ください。

日程	テーマ	講師
11 月 6 日(月) 10 時～13 時	女性・シングルマザーの貧困と自治体政策～シンママ調査 でみえてきたこと ミーティング ID: 817 0354 2446 パスコード: 609539	砂脇恵先生(龍谷大学社会学部准教授)
11 月 6 日(月) 14 時～17 時	第 9 期介護保険改悪の内容と自治体での事業計画策定の ポイント ミーティング ID: 844 8287 4030 パスコード: 279715	日下部雅喜先生(大阪社保協介護 保険対策委員長・ケアマネジャー・ 佛教大学非常勤講師)
11 月 7 日(火) 10 時～13 時	いまなぜ国・自治体による貧困対策が重要なのか ミーティング ID: 886 0936 7407 パスコード: 013144	加美嘉史先生(佛教大学社会福祉 学部教授)
11 月 7 日(火) 14 時～17 時	メンタルヘルスの視点から見る子育て支援・女性支援 ミーティング ID: 837 5715 9732 パスコード: 860578	加藤雅江先生(杏林大学保健学部 教授)
11 月 8 日(水) 10 時～13 時	異次元の少子化対策で「子育て罰」は解決するのか ミーティング ID: 867 3557 9669 パスコード: 954830	桜井啓太先生(立命館大学産業社 会学部准教授)
11 月 8 日(水) 14 時～17 時	基礎から国保を学び、「統一国保」の問題点を大阪から発 信する ミーティング ID: 813 1110 0156 パスコード: 779045	寺内順子先生(大阪社保協事務局 長)

【裏面もご参照ください】

リアル会場 大阪府保険医協会 M&D ホール(地図参照のこと)

会場は JR 大阪駅からいっしょの場合は大阪駅桜橋口改札からでて、地下鉄四つ橋線西梅田駅から乗っていただき難波駅26-A 出口をおあがりください。開場は 9 時半からですので 9 時半以降にお越しください。会場は飲食可能です。周りに飲食店も多数あります。



活動結果報告書

令和5年11月30日

越前市議会

議長 吉田 啓三 殿

議員氏名 佐々木 哲夫

下記のとおり報告します。

日 程 令和5年11月21日（木曜日）

活動先 創至・一志会合同会派ニュース発行

活動目的 合同会派ニュースを発行し、議員活動を市民に知らせる。

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 （不足のときは、補助用紙を用いる。）

印刷業者 有限会社清水印刷

折込業者 (株)福井新聞折りこみセンター

(株)福井広報センター

支払金額 118,233円（合同会派各議員で按分）

配布先 市内各所

印刷部数 26,500枚

別添のとおり

創至・一志会 合同会派ニュース

発行

越前市議会

会派「創至」

会派「一志会」

合同機関紙



合同会派による 『国の政策に学ぶ研修会』報告！

7月6日(木)・7日(金) 東京・衆議院第一議員会館

私達合同会派は、『子ども家庭庁』が新たに創設されたこと、本市で国府発掘などが始まる年に、国の政策を学び、参考にできる案件があれば、提案していきたいとの思いで『国の政策に学ぶ研修会』を行いました。

提案した各テーマについて、各省庁の幹部職員の方々が、テーマごとに会議室に来て頂き、用意された膨大な資料を基に丁寧な説明をされ、その後十分な時間の中、質疑応答をいたしました。

● 全体的な感想として、

各テーマにおける各省庁の担当職員の皆さまは、担当する政策に精通し、私達の質問に具体的な事例も踏まえ丁寧に対応して頂きました。

高木衆議院議員が研修会の各省庁への説明依頼をして頂いたこともあり、各事業の責任ある立場の出席が多く、国の各施策はもちろん、国政における全般的な観点からの説明など、参加者一同感心したところであります。

第一日目 13:30～17:00

テーマ 子ども家庭庁について

創設して間もない『こども家庭庁』であり、国民より設置が熱望されてきたこともあり、説明に来られた担当者の意気込みが強く感じられました。

現在、幼児教育、小中学校教育、高等学校教育など、それぞれの分野に担当が分かれています。それを横断的につなぎ、課題を克服するための施策を進めています。

【質問】 国が指導し、分かれている担当分野を、積極的に連携を図ることや、担当部署の一本化を図ることがいいのでは

【回答】 一本化は望ましいが、各地方自治体の事情もあり、あるべき姿を示す中で、自治体の対応を注視しているとのこと。

【質問】 子どもの居場所づくりに関して

【回答】 子どもの居場所づくりに関しては、学校教育の抜本的な見直しも必要との認識の中、小学校内に設置することを推奨している。

【質問】 放課後こどもクラブに関して

【回答】 『放課後児童クラブ』の、保育園・幼稚園・子ども園・小学校内設置を推進し、2023年度、国内で1万箇所の設置を目指している。

テーマ 文化財保護政策について

文化庁が京都に移転し、担当課長が、京都からズームで説明されました。

【説明】 文化庁移転の意義と経緯の説明

国内外への日本文化の戦略的な発信、文化による地方創生、「食文化」や「文化観光」などの政策機能の強化を目指し、食文化と文化観光の推進本部を文化庁長官の下に設置した。

【説明】 執務体制について

旧京都府警本部本館を改修。隣接地に行政棟(本館)を建設中とのこと。

【説明】 本市も策定した【文化財保存活用地域計画】の説明

国内1700自治体のうち、策定又は策定中含め150自治体。目標として10%を見込んでおり、ほぼ目標に近いとのこと。

文化財の修理に携わる人材(匠)プロジェクトや無形文化財の登録制度創設、本市に関わりのある『文化観光の推進一持続可能な取り組み』にも力を入れていく方針である。

【質問】 本市は、すでに策定済みだが、様々な支援が受けられるのか

【回答】 この計画は、各自治体が策定を通じ文化財の利活用に取り組むことを望んでいる。国は、補助率加算などの国庫補助事業における優遇措置を考えている。

本市も、文化京都宣言をすると共に、ユネスコ文化都市ネットワーク加盟を目指し、国府の発掘に取り組むなど、文化財の価値を改めて見直すと共に、これらを踏まえ文化観光に取り組む政策を国も後押ししてもらえる可能性を感じました。

(2面に続く)

第二日目 9:30～11:30

テーマ デジタル田園都市国家構想について

【説明】 地方における地域づくり

デジタル田園都市国家構想総合戦略のもと、支援制度が創設されているようで、その中心が、『地方移住の推進と地方創生移住支援事業』

【説明】 これまでのまち・ひと・しごと創生総合戦略

これまでの戦略を抜本的に見直し、2023年度から2027年度まで『デジタル田園都市国家構想総合戦略』を策定。

国内の各地域における個性や魅力を活かし地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂し、地域ビジョン実現に向け、政府一体となって支援する、デジタル化のありかたや推進策を提示。

【説明】 越前市でも取り組んでいる、地方創生移住支援事業

これにおいても、地方移住に関しての支援を強化していく方針。

【具体的な政策】

- サテライトオフィス 2027年までに1,200団体
 - 3D都市モデルの整備都市2027年までに500都市。
 - 脱炭素先行地域の選定及び実現を2025年度までに少なくとも100ヶ所選定し、2030年度までに実現。
- 国の政策を取り込み、本市でも、移住支援に力を入れています。



題佛 臣一

会派「創至」 「一般質問」

【子ども家庭庁の目的は縦割り行政の弊害を解消、是正すること】

問 子ども家庭庁の設置により、本市の子育て支援体制(教育・福祉の狭間での支援)がどのように変わっていくのか

答 こども中心の視点に立ちながら、年齢や制度の壁を克服した切れ目ない包括的支援を理想とし、教育、保健福祉の一体的な子ども・子育て施策の充実を目指し、新たな市総合計画2023において示している。具体的には、こども家庭センターを設置する。

【越前市に埋蔵文化財センター設置を】

問 手付かずの文化財や保存状況を見ると、人的体制の整備はもとより、文化財の保全と公開を兼ねた施設(埋蔵文化財センター)等の設置を早急に考えて頂きたい。

答 市が保有する埋蔵文化財や民具、古文書などの文化財は、私有施設を活用し分散保管している。どの施設も収容率が限界を迎え、適正な保存や今後の収集に課題がある。併せて、文化財の展示や体験のできる施設の確保も課題。次世代に文化財を継承するため、収蔵・展示・体験を兼ね備えた新たな施設の確保が必要と考えている。

【全国の公営墓地765市町村で58.2%が無縁墓が発生】

問 少子高齢化が進む中、引き継ぐ人がいない無縁墓が社会問題となっている。倒壊しそうな墓石を誰が管理し、責任を持つのかといった問題は深刻であり、災害時の危険や墓地の環境悪化につながると考える。少子高齢化によりお墓の後継ぎがない、遠方でお墓の管理ができないという問題を受け、公営墓地でも合葬墓(合同墓)の導入が全国で進められている。今後は、持続的な墓地管理の仕組みと新たな支え手の創出も考え、市営墓地に合葬墓(共同墓)の整備を考えて頂きたい。

答 市営墓地には継承者不明となっている墓が現在2基ある。人口減少、高齢化などにより、今後、無縁化や放置が進み、災害時等における危険性や環境の悪化などが懸念される。本市としては、変わりゆく墓地形態や供養方法、関連するサービスなどの情報やその方向性を注視していきたい。今後、墓地のあり方については、色々な課題があるが、行政として今後考えて行きたい。

だいぶつの思い

セーフティネットの視点から、一人暮らしの方や後継ぎが遠方にいる人の中には、将来、自分や先祖の遺骨がどのようになるかという不安を抱えている人も少なくない。「自分の愛するこの越前市に生きた証を残す」というメモリアルとしての視点や墓地は、故人が生きてきた証を残す場所として、また、家族との絆や故人の存在を確認する場所としての重要な場所です。「自分が生まれ育ったふるさとに生きた証を残したい」「遠く離れた故郷ふるさととのつながりを持っていたい」という郷土への愛着や思いを馳せる人の思いを実現するため、生きた証としての名前や生年・没年を刻むなど、メモリアルとしての視点を踏まえた墓地整備が求められます。私は、市営墓地に合同墓の整備を考えるべきと思いますが、皆さんはいかがでしょうか。

テーマ 公共施設等総合管理計画について

【説明】 指針の改定について

更新や統廃合、長寿命化などの対応策の検討や実施には、保有する資産(施設や設備)については、現有施設の状況把握だけでなく、その施設や設備の地域における存在意義や周辺地域における重要性の把握が必要である。それには、綿密な調査と専門的な力量を持った職員配置が必要。

これまで、本市が取り組んできた管理計画はどうであっただろうか？ 私たちもしっかり検証していきたいと感じました。加えて、国が求める施設や設備の固定資産台帳に関し、本市の整備状況の確認が大事だと思いました。

【説明】 これらの台帳と共に財務書類などを整備し、市民に開示することにより、住民や議会などへの説明責任をより適切に果たすことを求めている。

【説明】 国では全国の事例を把握しており、これらの知見や取り組み事例資料を、現在取り組んでいる全国各地の自治体における管理計画の検証と統廃合などの実践に活かしてほしい。



小形 善信

会派「創至」 「一般質問」

【公共施設総合管理計画について】

問 国においては約50年を経過した国内市町の建設物の老朽化と、人口減少や財源不足に対応した「インフラの長寿命化」を計画的にするよう、「公共施設等総合管理計画」を自治体に課していますが、越前市の計画について伺う？

答 最適な施設の保有量と配置を実現するため、平成29年に計画を策定し40年で3割の施設延床面積を削減することを目標としている。

問 施設の統廃合や廃止については市民への行政サービスの低下が予測されることから、利用者や地域住民の意見を聞きながら、費用の抑制と施設保有量の適正化を図ると共に、やみくもに30%の削減とすることなく将来に負担するであろうコストを重視した考えに改めるべきである？

答 次回の計画改定は令和8年となっているところですが、指摘を頂きましたので市民のご意見を伺いながら総合的に検討すると共に、議会にも相談させて頂きながら進めていきたいと思っています。

【きらめき温泉「湯楽里」について】

問 県内の「公共の湯」としては抜群の泉質を誇っている「湯楽里」は、指定管理期間を10年の長期として、民間の運営にインセンティブを付加した形態で事業遂行されていますが、コロナ感染症の影響下で入湯客などの減少に至っているであろうことは予測できますが、指定管理者と運営上の協議・研究はされているのか伺う？

答 本年9月より燃料価格等の高騰により規定内で料金を改定しました、また、北陸新幹線開業を契機に滞在型農泊モデルの構築と観光施設として磨きをかけるべく研究しています。

問 湯楽里は建築後25年が経過していることから、観光施設としてもリノベーションする時期となっていると思われる、また、昨年にも提言させて頂いた施設の民間移譲などの検討状況を聞く？

答 今後大規模な改修が必要となることは認識しています。施設を運営しノウハウを持つ事業者からは観光施設として磨きをかけるべきとの意見も伺っています。

問 利用者の想定を越えるサービス提供は民間事業者でなければ投資はできない。多くの民間事業者の知見と意向と参入意欲を探るべくサウンディング調査を早急に実施されたい？

答 民間への譲渡など検討し、サウンディング調査や全国の先進事例の調査・研究を行っていきます。



安立さとみ

・子どもの権利を主体とし、子どもが意見を表明する機会を確保する等「子ども基本法」の理念を重視する。

【職員体制のあり方から】

問 現在、市では職員の離職が多いように思う。乳児や幼児を抱える若手職員への配慮が必要と考えるが、育児をしながら働き続ける為の対策はどのようになっているか？

答 所属長には、業務分担やフォロー体制の検討を促すと共に、特定事業主行動計画の取得目標を示し、全職員に制度周知を図っている。しかし、職場や環境や状況によって難しいこともある。

問 団塊ジュニア等の一部年代の方々は数年にわたる就職氷河期に向かったことで、能力が生かせないままにいる方がいる。他の自治体では就職氷河期の人員をあえて募集しているが、越前市でも考慮できないか？

答 「就職氷河期世代」はおおむね平成5年から平成16年に学校卒業期を迎えた世代である。今後の職員採用試験においては、有用な人材確保の方策として、受験年齢の引き下げを検討する。

【在宅介護から】

問 高齢者用紙おむつ支給額が他市より低い第9期介護保険計画で見直すとしていたがどのように考えているか？

答 国の動向を注視し、他市町の状況や、実際の利用量調査を実施する等、適正な内容となるよう検討している。

【その他】

越前市議会では議会活性化委員会を中心に議員報酬について議論しています。そこで安立個人の議員報酬をお知らせします。

さとみの議員報酬(令和5年10月)		
給料	387,000円	
(所得税)83,100円	(市県民税)21,600円	(合計)104,700円
差引支給額 282,300円		
社会保険料(医療保険料)	55,500円	(介護保険料)20,600円 (合計)76,100円
その他 政務活動費	月60,000円(未利用は返金)	賞与(3.3ヶ月)

会派「創至」 「一般質問」

【子ども政策から】

問 今年度「子ども家庭庁」が発足、同時に「子ども基本法」が施行された。越前市としての取り組みはどのように考えているか？

答 令和6年4月に「市子ども家庭センター」を設置、情報を共有し支援の一体化を図る。
・令和7年に「市子ども計画」を策定し、現在の市子ども・子育て支援計画との一体化を図る。
・現在の「越前市子ども条例」を令和7年3月改正する。



能勢淳一郎

【民生児童委員について】

地域福祉活動の要である民生児童委員は3年ごとに各町内区長から推薦を受け最終的に厚生労働大臣から委嘱されます。

しかし民生児童委員の条件、待遇や業務の詳しい内容をあまり理解されていない区長が、候補者の依頼、推薦をしている現状があります。

問 近年民生児童委員の業務が多くなってきた認識はあるか？

答 10年前に比べ高齢者が51.3%1459人増えるなど少子高齢社会や核家族化の進行により見守りや支援が必要な市民が年々増加。
また自然災害の増加の中、避難行動要支援者の個別避難計画作成にも協力いただいている。

問 民生児童委員の活動費は60,200円。その中から会費等が14,100円支出される事は改善が必要だと思うが。

答 福祉六法事務委託料から会費支出する事は差し支えないと考えるがそれぞれの地区のやり方・考え方があるので各地区協議会の会長と継続して協議していく。

【国府発掘プロジェクト】

これまで国府が越前にあった事、ひいては紫式部がこの地にいた事は「状況証拠」の域を出なかったが今回の国府発掘で「物的」にそれらが証明される事に市民の期待と注目が集まっています。

問 これまで国府発掘を困難にしてきた要因は？

答 越前国府の推定地は平安時代から現代まで中心市街地として住民が居住している区域であるため発掘作業が「民地」となり、土地所有者との調整も必要のため大規模な発掘調査が難しいのが現状。

問 文化県都宣言の中の位置付けは？

答 かつての「越前国府」は大国の中心として栄え活気に満ちた場所であり歴史と文化の象徴であった。「越前国府の再生」として交流や文化、産業を魅力的に再生チャレンジしていく。

【その他】

- ・紫式部プロジェクト
- ・並行在来線礪町新駅について質問しました。



(市民説明会 令和5年10月15日(日))



清水一徳

へ」での本市への関心が高まる時期になる中、景観が重視される都市公園についてはさらなる磨き上げが必要で、特に樹木の維持管理が重要であり、造園協会などの専門家のご協力を得ながら、樹種に応じたきめ細やかな管理が行えるように、今回の更新に際しては維持管理形態を見直していきたいと考えている。

【意見】

餅は餅屋という諺があります。景観を重視する公園であれば、本来設計施工した業者に継続して管理してもらうのがベストではないでしょうか？しかし、6年度からも委託業者は変わらず同じ業者となりました。

会派「一志会」 「一般質問」

【都市公園維持管理業務包括管理委託について】

問 都市公園の包括管理業務委託が年度末で切れ、契約の更新になるが、紫式部公園や芦山公園、小次郎公園等、大きな公園は、高木の選定も景観の維持も関わることから、専門的造園業者に、委託する考えはないのか？

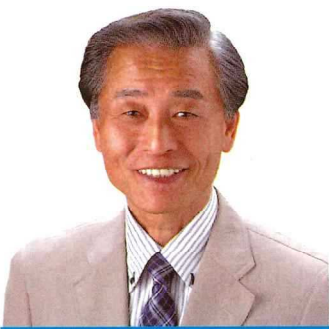
答 今回の包括管理業務委託の更新については、国道417号の冠山峠道路開通や北陸新幹線開業、中部縦貫道全面開通等、広域交通の整備による交流人口の増大や大河ドラマ「光る君

【工芸の里構想推進事業】

「国際木版画ラボ」が、山梨県富士河口湖町から栗田部町に移転されます。(一社)産業人文学研究所の活動施設である「国際木版画ラボ」では、水性の木版画研修のプログラムが実施されアーティスト・イン・レジデンスとしても国際的に高い評価を受け、クリエイターやアーティスト、研究者など専門人材が集積し活動する拠点となります。合宿しながら制作活動することから、その為のハード整備として、空き家の活用など生活しやすいような体制をしっかりと整えていくことが大切であり、地元の方々との交流や和紙職人との交流によって、アーティストがインフルエンサーとなって、越前和紙ブランドを世界に発信されることが期待されます。

移転の記念として、令和6年4月4日～6日の3日間、第5回国際木版画会議が開催され、多くの海外アーティストが本市を訪れることで、芸術文化の交流ができ、本市の伝統的工芸品の認知度向上や伝統産業の振興も期待出来ます。

それに加え県の「新幹線時代の観光地域スケールアップ支援事業」に採択されるべく計画書が提出されており、採択されれば観光開発の適地として五箇を始めとした今立地域が、宿泊施設や観光地の整備事業の対象になる予定です。



佐々木哲夫

会派「一志会」 「一般質問」

市民の皆さまの様々なご意見やご提案を、市政に反映させて頂きたく日々奮闘しています。

その中でも、特に力を入れておりますのが、厳しい状況にあります、農山村問題。近年の異常気象にみられる地球温暖化への対応、そして、市民の文化レベルの向上であります。

○ 田や畑、山の管理、集落運営、空き家となった廃屋の処理など農山村の課題は山積しています。その対策を考えます。

○ 異常高温、ゲリラ豪雨などによる突然の水害、豪雪など、国内だけでなく、世界的にこの現象が現れています。地球温暖化対策は、国際機関や国が主導的に取り組むことですが、足元からできる対策に取り組むことを考えます。

○ 文化県都宣言に向け、市民の文化レベルをいかに上げていくかを考えます。

議会の一般質問では、下記の点について質問しました。

問 文化県都宣言に向け、市民の文化レベルの向上と、文化施設の改修に取り組んでほしい。

答 色々と文化活動は行われているが、認知度が低いため積極的な文化交流の促進が必要である。表現手段の多様化に伴い、芸術文化の多様性の検討も必要に

なっている。加えて、文化施設の老朽化による改修の必要性は認識し、計画的に修繕していく。

問 森林は、現在殆ど管理されてなく、整備された作業道が崩壊し通行できない箇所や、里山に繁殖した竹林が山全体に拡大しているなど、森林対策は待ったなしです。来年1月から始まる【森林環境税・千円／人】の実施に伴い、市は、その方策を検討するためマスタープラン作成に取り組んでいます。

市内には、市の実態に詳しく、森林の管理や経営に詳しい専門家がおられるために、その方々を中心にマスタープラン策定を自ら取り組むよう提案しました。

答 専門的な知見を持つ市民と意見交換はするが、計画策定は、コンサルタントに委託する。

問 新ごみ処理施設ができ、汚れたプラスチックも可燃ごみに入れることが可能となったことにより、市民意識の変化や分別実態はどうなっているのか。また、以前に地域で実践され、やめてしまった生ごみのたい肥化も含め、私たちにできることを再検証してみる必要があるのでは！と提案しました。

答 新幹線開業を契機に、自然環境や歴史と文化を国内外に広くアピールする考えである。加えて、『ゼロカーボンシティ宣言』により2050年までに実質的なCo2排出ゼロを目標とするなど、SDGsへの貢献を積極的に推進し、産業分野も含め、市全体で環境問題に取り組んでいく。

「創至」と「一志会」の合同会派が開催します！

地域の課題を一緒に語り合いましょう！！

私達、合同会派は、市民の皆さんと地域の課題を語り合う場を下記のように開催いたします。

日頃の地域における課題や生活における悩みや課題がありましたら、皆さんと一緒に、気軽に話し合いたいと思います。そして、皆さんから頂いた課題や悩みの解決に向けて、市政に反映していきたいと思っています。

◆開催案内

と き 11月25日(土) 10:00～

ところ あいぱーく今立 大会議室

と き 11月25日(土) 14:00～

ところ 吉野公民館 会議室

- 皆さんと話し合いたいこと。(例)
- 福祉(高齢者、障害者など)に関すること
 - 産業(産業・農林業など)に関すること
 - 環境活動に関すること
 - 子育てや学校教育に関すること
 - 新幹線や417号線開通に関すること
 - 自治振興や公民館活動(各種団体)に関すること
 - 地域防犯・防災に関すること などなど

今回は市内2ヶ所で開催いたします。市民の皆様には、ご都合のつく場所に、どなたでもお気軽にご参加頂きますようご案内いたします。

あとがき

越前市は、10月1日のふるさとの日に【文化県都宣言セレモニー】を実施しました。

プレゼンには、ユニークな活動を展開されている市民がたくさん紹介されており、頼もしい限りです。来年のNHK大河ドラマに紫式部をテーマとする『光る君へ』の放映が決まり、国府跡の発掘も、市民ボランティアの参加のもとですすめられ、越前市の歴史・文化の掘り起こしに取り組んでいます。

文化の再発見と再評価、そして、それによるイメージアップを図る戦略は、これまでにないものであります。

しかし、歴史や文化に視点を当てながら、それをまちづくりに活かそうとするには、まずは、市民の関心を今以上に高めること、加えて、自主的で積極的な市民の参加が増えることが重要であります。ぜひとも市の強力なリーダーシップを強く望むものであり、実施体制の強化、職員の適材適所、外部からの人材活用に期待するものであります。

会派「創 至」

題佛 臣一 090-5689-0741

小形 善信 090-3292-5118

安立さとみ 090-8094-2333

能勢淳一郎 090-3290-4000

会派「一志会」

清水 一徳 080-3046-3371

佐々木哲夫 090-2838-8026

活動結果報告書

令和6年3月31日

越前市議会

議長 吉田 啓三 殿

議員氏名 佐々木 哲夫

下記のとおり報告します。

日 程 令和6年3月31日（日曜日）

活動先 一志会の会派ニュース発行

活動目的 会派の機関紙を発行し、議会活動を市民に知らせる

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 （不足のときは、補助用紙を用いる。）

印刷業者 有限会社清水印刷

支払金額 85,409円（会派各議員で按分）

配布先 市内各所

印刷部数 3,500枚

別添のとおり



『発行』

越前市議会 会派『一志会』

清水 一徳 佐々木哲夫

私たち、会派『一志会』は、議会活動を皆さんにお伝えするために、機関紙を発行しています。今回は、先般行われた、3月議会による一般質問を中心にお伝えします。

新幹線・越前たけふ駅開業と、 国道417号線開通による地域の活性化

新幹線は3月16日に開業、冠山トンネルは昨年11月19日に開通し、加えて来春予定の南坂下トンネルが開通します。この2つの開業・開通により、この地域を訪れる人々はすでに増え始めており、南坂下トンネル開通後は、劇的に増加するものと予想されます。

さて、市をはじめ、この地域に住む私たちは、この事態をどう受け止め、訪れる人々をどう受け入れようとしているのか！が求められています。

市では、誘客対策や伝統産業の活性化をテーマに『越前和紙バレー』構想に着手しました。

また、国際木版画協会が和紙組合と連携し、市の支援を受け、栗田部地区の古民家に研修施設を移転してきました。

4月には海外からアーティスト約100人が訪れ、いまだて芸術館を中心に国際会議を開催します。その後、毎年40人近くの海外のアーティストが滞在して作品を制作されます。

海外の方々がこの地域を散策する姿を見ることとなるでしょう。



国道417号線 南坂下トンネル貫通



前回の国際木版画会議(奈良会場)



北陸新幹線 東京-敦賀間 開業

私たちは、

- 国道417号線で池田町からトンネルを抜け、越前市今立地区の越前和紙などへの誘導、さらには武生地区の観光施設への誘導に関する看板や案内所設置を提案しています。
- トンネルの開通や誘客増の事態に、どう対応していくのかについては、この機会に、地域づくりを担う各地区自治振興会が中心となって相談しあい、誘客の受け入れに取り組まれることを願っています。私たちも積極的に参画したいと思っています。

地域の宝を更に磨き上げ、 皆んなの誇りにしよう！

この地域には、栗田部の継体天皇ゆかりの花筐公園、岡本の紙の神様と越前和紙、南中山の今立郡建郡や赤米、服間の織物の神様や小次郎生誕地の公園など様々な歴史や文化があります。

まずは、それぞれの宝を磨き上げると共に、地域の人々が誇りに感じて頂けるような学びの場が求められています。すでに、有志の方々により、それぞれの地域が連携に向けた取り組みの準備も始まりつつあるようです。

これらにより、海外や県外から訪れた方々に、自信を持って地域の宝物の説明が出来ることで、きっと喜んでいただけることでしょう。



「越前和紙バレー創造事業」について

清水 一徳

北陸新幹線の開通に伴い、県は、6月補正予算において「新幹線時代の観光地域スケールアップ支援事業」を打ち出しました。

そこで越前市では、実施するエリアとして、越前和紙の里を中心に半径2km圏内を、和紙バレー創造事業のエリアとして選定し、1月に公募型プロポーザル(企画提案による競争入札)で、(株)デキタを選定し、3月下旬までに整備計画を策定することとなりました。

今後は、令和6年からの3年間に、今立五箇エリアでの越前鳥の子紙研修施設や宿泊施設の整備、越前和紙の里の整備などのハード事業と、市全域を含めたソフト事業を実施していく予定です。その具体的内容として次の七項目が挙げられます。

- ◎越前鳥の子紙研修施設は、今年度より旧和紙組合会館跡地の蔵倉庫を中心に改修増設をする。
- ◎宿泊施設の整備については、滞在時間を延長し、観

6つのテーマ：2 活力あふれる地域産業

越前和紙エリアの高付加価値化とスケールアップを目指す

【新】

＜概要＞1500年前から、ものづくりの叡智が継承されている越前和紙エリアにおいて、越前鳥の子紙施設や古民家を活用した宿泊施設の整備をはじめとしたハード整備と、ソフト事業による観光地域の高付加価値化に取り組み、さらなるスケールアップを図ります。

区分	種別・実施事業	R6	R7	R8
ハード整備	越前鳥の子紙施設の整備	設計・整備		
	古民家を活用した宿泊施設の整備	整備計画 物や交通	整備	
	越前和紙の里再整備	整備計画	整備	
	文化財の磨き上げ・高き上げ	整備計画 設計	整備	
ソフト事業	高付加価値人材の育成	高付加価値人材の育成		
	高付加価値体験プログラムの開発	アドバイザー招聘 → 高き上げ		
	飲食店や土産店などの出店支援	支援制度の検討	出店支援	



▲越前和紙の里せせらぎ池の改修



▲体験プログラム造成に向けたアドバイザー招聘

▼「越前鳥の子紙」のユネスコ無形文化遺産登録を目指します。

＜概要＞国の重要無形文化財であり、ユネスコ無形文化遺産の登録候補となった「越前鳥の子紙」の手漉き和紙技術の保存・継承、そして、五箇エリアの産業観光振興のため、越前生漉鳥の子紙保存会の研修施設整備を支援します。

令和6年度 施設整備 → 令和7年度開館予定



光消費額の拡大を図るため、今立五箇エリアの古民家を活用し、地域ならではの特別な滞在ができる、上質な宿泊施設の整備を検討し、現在、何件か民間業者から具体的な提案もいただいている。

- ◎越前和紙の里再整備については、和紙の里通り周辺の一体的な景観の再整備を3箇年計画で予定しており、今年度は、地元の要望に基づき、和紙の里通りのシンボルとなっているせせらぎの池の改修を行う。令和7年度以降は、地元の意見を聞きながら、例えば、サインやガードレール等を含めた道路景観整備の内容や施設の維持・活用等を検討していく。

- ◎文化財の磨き上げについては、文化財をブランド発信的・観光的側面から際立たせ、より有効に活用していく。例えば、文化財の美的価値が増し、歴史的価値へのより理解が深まるような見せ方の工夫、もしくは文化財へのアクセス等の改善などを含めて考えていく。

- ◎高付加価値の人材の育成については、インバウンド富裕層のニーズを満たす為、専門用語を含め、的確に物事を伝えられる高い語学力や、幅広い知識を持ち、欧米の思考方法や歴史・宗教等の価値観を踏まえた対応力を有する人材を想定している。

- ◎高付加価値体験プログラムの造成については、越前和紙・越前打刃物・越前箆・地域のまつりなどでの普段は入ることのできない場所の見学や、伝統工芸士や地元の人たちとの交流、特別な体験などについても造成していく。

- ◎計画策定段階において回遊につながるメインストリートを定め、その周辺に存在する空き家などのリサーチを行いながら、飲食店や土産物店などの出店支援を行っていく。などの企画案が提示されています。



岡太神社・大瀧神社



[3月議会における一般質問]

佐々木 哲夫

一つ目は、能登から学ぶ災害対策。

今年の正月に起きた能登地震は、私たちに大きな衝撃を与えたと共に、予防対策の重要性を再認識することになりました。私の長年の友人も、能登町で被災しました。2月上旬に友人から支援要請があり、車中泊で2日間行ってきました。被災地を見せて頂き、災害の凄さに絶句すると共に、改めて予防対策の必要性を痛感しました。

質問 火災が起こった時の初期対策の役割が自警消防隊で、災害は、休日や夜間を問わず起こります。隊員の多くは、平日仕事で地域にいない場合があります、日ごろから在宅されている自警消防隊OBや元気な高齢者の方々に【(仮称)平日自警隊】を組織している集落があります。とても良い事例なので、本市でもぜひとも検討してほしいが？

市の答弁 地域の防災力向上には、元気な高齢者の存在が欠かせないと考えており、元気な高齢者も含めた自主防災組織の活動強化を進めたいが、『(仮称)平日自警消防隊』の組織化を推進することは考えていない。

意見 平日の日中に火災などが起きた時、地域の元気な高齢者の方々が、初期消化をはじめ、対応にあたって頂けることは、とてもいいことだと思います。そのためには、まずは組織ができ、集落や地域で認めて頂くことが重要です。

質問 能登災害の現状では、家屋全てが倒壊、一階が倒壊し二階が覆いかぶさる家屋を沢山見て、耐震対策の必要性を強く感じました。市では、耐震診断支援は平成17年から、耐震改修支援は平成20年から実施されてきたとのこと。

耐震診断や補強プランは、毎年約20軒程。耐震対策は、毎年5件程実施されている。建築基準法改正の昭和56年以前に建てられた家の耐震対策が特に必要で、該当軒数は約1万件。これらの家屋のかかなりの部分で耐震対策がなされていないと思われるが、その対策は？

市の答弁 耐震診断や補強プランなどの費用は10万円程かかるが、自己負担は1万円程。その結果を見て、対策を検討すれば良いとのこと。耐震対策をされた場合は、耐震改修費用の150万円までは、国や県などの補助があり、それを超えた額は自己負担となります。今後も、積極的にPRしていきます。



能登半島地震倒壊家屋

二つ目は、有機農業について。

本市は、総合計画の実践プログラムの中で、国内有数の有機農業の産地を目指すと謳われました。

永年、有機農業に取り組み、自然環境の変化に対応できる栽培技術確立の難しさや、生産した有機農産物を正當に評価し買って頂けることの難しさを経験してきた、仲間の皆さんにとって非常に嬉しいことです。

質問 市では、これまで約20年、食育、環境調和型農業、食と農の創造ビジョン、創造条例の制定、コウノトリが舞う里づくり構想と戦略など、一つひとつの取り組みを踏まえ、地道に計画を進められてきました。その根底には、市民の健康、人といきものにとって、自然に優しい有機農産物が大切ということでもあります。まずは、市民に理解して頂き、買って頂くことです。食育の取り組みや、食と農のつながりの大切さを伝える取り組みは？

市の答弁 期間限定ながら「コウノトリ呼び戻す農法米」の学校給食への導入。白山地区での『たんぼファン倶楽部』、農水省発行の『見えるラベル化』などを通じて普及を図る。コメだけでなく野菜の支援も図っていく。厳しい農業情勢のなか、持続可能な農業のあり方や市民の食の安全、地球温暖化対策を見据えると、有機農業を進めることは不可欠である。

意見 本市では、50年前から有機農業に取り組んでいる農家があります。これまで普及しなかったのは、栽培の難しさ(草対策や土づくり)、販売先の確保でした。JAたけふが、県内JAの中で先駆的な取り組みをされています。化学農薬や化学肥料に頼らない、自然と共に生きる有機農業は、近年の国の強力な推進方針を土台に、本市における広がりを心から願うものです。

そのためにはJAが土台となり、有機農業者が栽培技術や販売に関する情報を共有し研鑽する中、草対策や収量増、販売先の確保を図っていくことが望まれます。



コラム

百年に一度のチャンスに際して

国道417号線が開通し、北陸新幹線が敦賀まで開業しました。さらには、紫式部を主人公とした大河ドラマ「光る君へ」の放映。また、今秋にはJR東日本による全国的なデスティネーションキャンペーンが繰り広げられ、今後、中京圏や首都圏からの交流人口がますます増えてくることは容易に予想できます。

また、4月4日から始まる国際木版画会議と、それに伴って、海外から5人～6人の木版画アーティストが一月ほど滞在して創作活動をし、越前和紙や地元の方々との交流が年間6クール毎年繰り広げられます。

さらに来年には念願の、越前生漉鳥の子紙がユネ

スコ無形文化遺産に登録される見込みであり、産地を取り巻く環境が急激に変化してきました。「時代が越前に近づいてきた」そんな感じを受ける100年に一度のチャンスに地元住民として、それぞれの立場で精いっぱいおもてなしができるようご協力をお願いいたします。



さすが、先見の明！！

集落や地区などの避難所の先進的なモデル事例

石川県
能登町

写真にあるのは、能登地震の被災地・能登町の農家民泊群である【春蘭の里】・交流宿泊施設【こぶし】です。ここには、太陽光発電、小水力発電、地下水利用、水素による燃料電池が設備され、電気と水道の自給体制が整備。部屋は個室で、風呂、トイレが完備。コインランドリーまで設置。まさに、自立型の避難所として大活躍しました。

能登地震の時には、20名程の方が避難され、支援団体もここを拠点に活動されていました。



あとがき

私たちは、ますます厳しくなる農山村が抱える課題と向き合い、これまで先祖たちが営々として築いてこられた財産である、田んぼや山や農山村の風景を守り次世代につなげていけることを願っています。

地域を見てみますと、人口が減っていく中でも、地域に戻ってくる若者夫婦や外から移住される方もおられます。また、多くはありませんが、赤ちゃんの誕生も見受けられます。私たちは、この一つ一つが大きな

農村地域が抱える悩みにどう対処するのか？ 一緒に考えてみませんか？

人や若者がいなくなり、集落が維持できない。

役員のなり手がいない。田んぼや山が維持できない。

昨年の一般質問で、集落が抱える課題解決に向けて、福井市が取り組んでいる『となりの集落との連携』の支援事業(国の支援)に取り組んで欲しいと市に要請済みです。新年度から月尾谷地区で始まる区画拡大事業(田んぼを大きくする)に将来は他地区も取り組まれ担い手が請負できることを願っています。

年を取ると、車に乗れなくなり、医者や買物に行けない。

現在、市では、市民が事前に予約し、指定の各集落停留所へ送迎用のワゴン車が来て、医者やお店へ送迎してくれる『デマンド交通』の実証実験を、味真野と栗田部、岡本地区、他で実施しています。数年後には、本市でこのシステムが取り入れられることを目指しています。

出来るだけ早くテストを終え、本格実施を求めています。また、お身体が悪くて集落の指定停留所に行けないお年寄りの為に、自宅まで送迎してもらえ

る制度の検討も要望しています。

励みです。農山村があって都市は成り立つものと、古来から言われています。農山村を守っていくために、全国各地で今も悩み続ける中で試行錯誤を繰り返し、必死に頑張っておられる仲間がいます。上記の避難所となった【こぶし】もその一つです。これらの実践に真摯に学び、地域の皆さんと共に、一つでも試行的な取り組みを始められたらと思います。地域の皆さまの貴重なご意見やご提案を心からお待ちしています。